

第60回「市民の皆さんとランチで対話」の概要は、次のとおりでした。

団体名	能代市私立幼稚園協会
開催日時	平成25年11月1日（金） 正午～午後0時50分
開催場所	市長応接室
出席者	能代市私立幼稚園協会の皆さん9人（能代市 市長ほか4人）
案件	第四保育所の民間移管について、子ども・子育て支援新制度について、へき地保育所について
会議の概要	<p>市長との対話内容</p> <p>【第四保育所の民間移管について】</p> <p>協会 平成26年度までに開所の時期を検討するとなっている。狭い土地だが、どこかへ移転するのか。</p> <p>課長等 第四保育所は、老朽化も進んでいるし、面積も狭いので、新築ということも考えなければならないと思う。26年度までにどこに民間移管するか、いつから開所するか等を検討している。</p> <p>協会 27年度から運営の方向か。</p> <p>課長等 事前に保護者への説明や様々な段階を経ての開所となるので、2年か3年かけてということになる。</p> <p>協会 認定こども園に移行する計画はあるか。</p> <p>課長等 新制度では、認定こども園を推進していくことになるが、その辺は、どういう方向性になるのかも含めて検討していかないといけない。</p> <p>【子ども・子育て支援新制度について】</p> <p>協会 新制度の議論では、ある問題点だけ抽出されている。例えば、待機児童について、都会の一部の問題を全国の問題として取り上げられ、幼保を一元化しようという話になっている。認定こども園では、教育と保育をやるということだが、現在の制度では、教育を行う幼稚園は3歳以上、保育を行う保育所は0歳から5歳までとなっている。幼稚園と保育所を一緒にし、0歳から5歳まで「教育」という言葉を使うのは矛盾する。3歳以上と3歳以下と、制度を分けた方がいいと思う。</p> <p>また、幼稚園は今までの県の管轄から市町村に変わり、市町村から給付を受けることになる。現在、幼稚園では預かり保育を行っている。市役所で認定をすると、その方々は幼稚園に入れず、認定こども園か保育所にしか入れなくなる。幼稚園の園児数は半減するため、その処置として幼稚園が、認定こども園という形をとれば今と変わらない経営ができるようになるが、心配である。</p> <p>保育所、幼稚園、認定こども園にそれぞれいくらかかったかという公定価格の基準を国で出しているが、今度は市町村で決定することとなり、保護者の方に平等になるような取り扱いを検討してほしい。また、市が保育所を担当しているが、新制度の給付など、保育所と同じやり方となると、幼稚園にあてはまらないことも生じてくる。保育所は8時間以上、幼稚園は4時間預かっているが、単純に、幼稚園は保育所の半分の金額でいいでしょ、という話もでてきている。実際はそ</p>

	<p>ういうことではない。</p> <p>市長 新制度がどういう枠組みで、どういう形になるか。給付の面でも、結論が出てないが、国の政策としてちょっと矛盾があるのではないかと思う。新制度は、結論が出てからの検討になる。幼稚園でも保育園でも、能代の子どもたちであることに変わりはなく、家庭、教育、保育の場でもある程度負担が均一でないといけない。幼稚園と保育園との差が大きく開くこともいいことではない。できる限り、現場の皆さんが負担にならないような支援をしないとイケない。</p> <p>国の制度は、制度として認めないとイケない。国の制度には、当てはまらないが市でこういうことをやってくれないか、というような意見交換ができればいい。認定こども園になると、幼稚園が不利になるのは理解している。行政として、どういう具合にしたら埋め合わせできるか、皆さんは専門家ですから、逆に提案してもらえれば行政として検討したい。</p> <p>協会 幼保小中高と、全国ではキャリア教育が進められている。能代版のキャリア教育を濃くするために、教育委員会と子育て支援課と連携していけば、幼稚園と保育園がどこかで手をつないだり、小学校も手をつないだりできる。</p> <p>市長 教育の見地と保育の見地は、視点が違うが、幼稚園であっても保育園であっても、認定こども園の考えでは、両方一緒だと思う。今後は教育部も関わっていただけるように、いろんなどころから意見をいただきたいと思う。</p> <p>【へき地保育所について】</p> <p>協会 鶴形、檜山で募集をするようだ。現在の入所している子どもが退所したら閉所と聞いていた。募集するという事は、新たに入所した子どもたちが退所するまでへき地保育所が続くということか。</p> <p>課長等 現在の園児が卒園するまでという方針は変わらない。来年までと決まっているので、そこで閉所となる。閉所の期間は延長しない。</p> <p>協会 保育所について、私立と公立であれば、公立は市民の要望にこたえることはいいことだが、そこを何が何でも存続させる意味は我々よりも薄いのではないかと思う。その辺も検討の選択肢の1つとしてあげていただければと思う。</p> <p>以上でした</p>
<p>検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て新制度は内容が固まってからの議論になるが、能代にふさわしい制度になるように検討していくこと ・教育委員会との連携について